



KEEP LONG

ケーブル保護用鋼管 キーロン E-VD

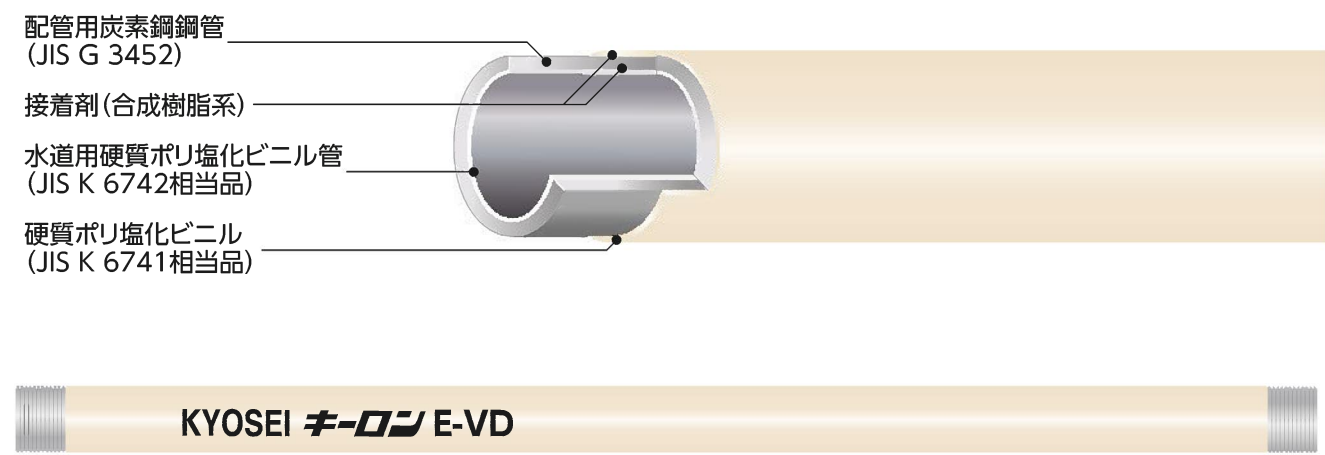


KYOSEI®

特 長

1. ピンホール・亀裂・剥離の心配がない
- 内面の硬質ポリ塩化ビニル管は、厚さ・材料等が均一でピンホールや亀裂がありません。また、
接着剤で強力にライニングしていますので、剥離の心配がありません。
2. 機械的強度が大きい
- 外部衝撃や耐内圧強度は、鋼管の強さをそのまま発揮します。
3. 施工性に優れている
- 管の切断、ねじ切りなどが鋼管の加工機器で簡単に行えます。
4. E-VD の外面は耐食性・耐薬品性・絶縁性に優れている
- 硬質ポリ塩化ビニルは、酸・アルカリ・塩類に強く、地中埋設で長期間使用しても電気特性
が変わらず、鋼管を保護します。

構造・規格

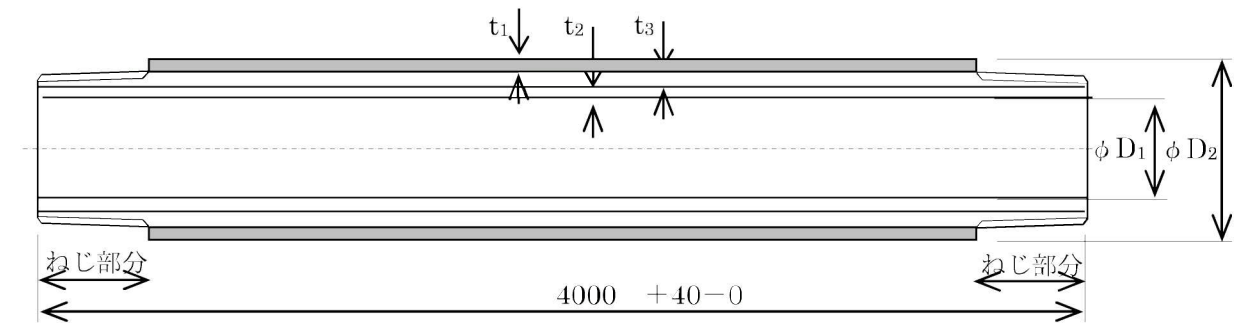


■表示

E-VD KYOSEI **キ-ロン** E-VD 80A ○○-△△

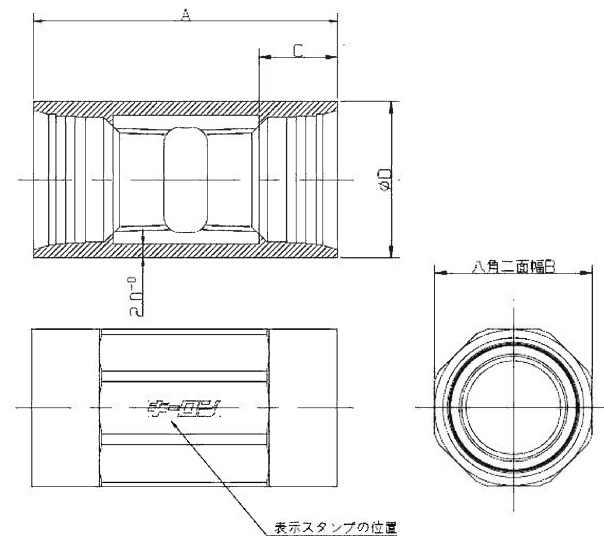
製造業者名 商品名 種類の記号 呼び径 製造年月

※印字は白色になります。



呼び径 (A)	ラ イ ニ ン グ 管						(参 考)		
	鋼管部		内面用ビニル管部		外面被覆部	長さ			
	外径	外径の 許容差	厚 さ (t2)	厚さの 許容差	厚 さ (t1)		鋼管部 厚さ (t3)	近似内径 (φ D1)	近似外径 (φ D2)
25	34.0	± 0.5	1.5	± 0.2	1.2 以上	4000 以上	3.2	24.6	37.8
40	48.6						3.5	38.6	52.0
50	60.5						3.8	49.9	63.7
65	76.3	± 0.7					4.2	64.9	79.5
80	89.1	± 0.8	2.0		1.5 以上			76.7	92.3
100	114.3						4.5	101.3	118.3

VI 継手



ソケットの寸法 単位：mm

呼び径		A	B	C	D
A 呼称	B 呼称				
25	1	93	48	24	48
40	2 1/2	103	63	24	63
50	2	110	76	25	76
65	2 1/2	122	98	26	92
80	3	129	112	27	106
100	4	141	140	28	132

ソケットの入数表

呼び径	入数	呼び径	入数
25A	70 本	65A	12 本
40A	30 本	80A	8 本
50A	20 本	100A	3 本

キーロン VI 継手は、ねじ込み式可鍛鋳鉄製管接手（JIS B2301）白の外面に硬質塩化ビニルを被覆したもので、図の通りの受口を形成しており、ブチルテープ（補填剤）との併用で優れた防食性能を発揮します。

キーロンブチルテープ



VI 継手は、独特の受口を形成しております。防食用充填材として使用してください。（色：アイボリー）

規格（巾×厚み×長さ）	入数
22mm × 3mm × 4000mm	20

取扱上の注意事項

1. 保管上の注意

炎天下や厳冬の場合に放置せず、置場には台木を敷き、必ず室内保管してください。やむをえず屋外保管する場合は、台木の上に置き、シートを掛け、直射日光と雨水を避けるとともに、熱気がこもらないように風通しのよい状態を保ってください。

2. 配管上の注意

- ・切断は、高熱を与えるガス切断やアーク切断は避けてください。
- ・ねじ切り加工は自動切り上げ式のねじ切り機をご使用ください。
- ・外面被覆鋼管用のパイプレンチ、パイプバイスをご使用ください。
- ・曲げ加工はできません。
- ・E-VDは外面の塩ビ樹脂の表面に、万が一鋼管に達する傷がある場合は、防食テープなどで補修してください。
- ・高い真空状態が発生する場所では使用しないでください。硬質ポリ塩化ビニルがはがれる場合があります。
- ・高温で使用すると、硬質ポリ塩化ビニルが軟化し、内部がつまったりはがれる恐れがあります。
- ・火に近づけないでください。加熱されると硬質ポリ塩化ビニルが炭化したり、シワ、発泡現象が起こり、内部がつまることがあります。
- ・配管施工時に、有機系薬品（ケトン類、二硫化炭素、四塩化炭素など）、木材防腐用クレオソート等が接触すると、膨潤、軟化、亀裂などの現象を起こす恐れがありますので使用しないでください。また、ご使用に際し不明な点は弊社までご相談ください。
- ・管端部分が万が一変形した場合、その部分を切断、除去してご使用ください。

3. 現場および輸送上の注意

落下および強度の衝撃を与えますと、硬質ポリ塩化ビニルを破損することがあります。また、輸送の際にナイロンスリング以外で締め付ける場合、緩衝する箇所には必ず保護（ゴム板等）をしてください。現場での積み降ろし時には、特にご注意ください。

配管施工

■キーロン VI 継手を用いたねじ配管

シーラ材 プチルテープを用いる場合

ねじシール剤塗布



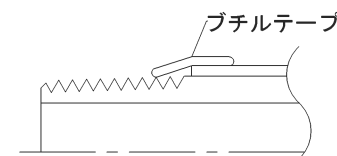
図のように、ねじ先端よりねじシール剤を施します。

プチルテープ巻き



管外面塩ビ切り上がり部に合わせて管に1周巻き付けます。(100Aは2枚重ねて巻き付けてください) 巻き付け要領は15Aから40Aは離型紙を外し少し引っ張り気味に、50A～100Aは離型紙を外さず巻き付けた後で、取り外し、手で軽く押さえてください。

呼び径 (A)	テープの切断長 (mm)
25	90
40	140
50	220
65	270
80	310
100	390 × 2

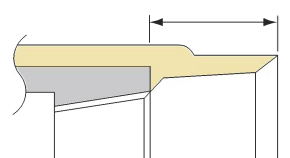


接合



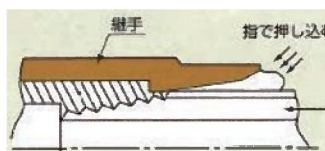
継手を直管に手でねじ込みます。手締め後、適正な被覆鋼管用パイプレンチを用いて継手受口部にかからないように標準トルクで締め付けてください。
※外面被覆に鋼面に達するような著しい傷がある場合は、防食テープなどで補修してください。

この部分にはパイプレンチをかけない。



呼び径 (A)	標準トルク (N.m)	パイプレンチのサイズ (mm)	標準ねじ込み山数
25	100	350	6
40	150	450	7
50	200	600	9
65	250	900	10
80	300	900	11.5
100	400	900	14

充填



締め後プチルテープが継手受口部全周に行きわたっていることを確認の上、直管と継手の隙間に押しつけるように指先などではみだしたプチルテープを充填してください。

剥離カッター

外面塩ビ被覆の剥離作業が簡単に行えます。

1. 作業時間の大幅な短縮

従来の塩ビ被覆の剥離作業を大幅に短縮

2. 塩ビの飛び散りが少ない

ハンドルを回すと螺旋状に被覆を剥いていく為、塩ビの飛び散りが少ない

3. 鋼管に傷が付きにくい

塩ビと鋼管の間を刃ですくいあげている為、鋼管に傷が付きにくい

4. 狭い場所でも作業が可能

ラチェット機構の為、狭い場所でも作業が可能 (壁から30mmあれば剥離可能)



レンタルもご利用いただけます

西尾レントオール株式会社

(NISHIO RENT ALL CO.,LTD.)

配管機器営業部

お問い合わせ・ご用命は各営業所まで

【外面硬質塩化ビニル被覆剥離手順】

手順	VF・VI								
硬質塩化ビニルの除去 管端の硬質ポリ塩化ビニル被覆を一定数剥離する作業で、右図のように ① パイプカッター ② マイナスドライバー で外面被覆にノッチ (切れ目) を入れて剥離します。 ※溶接時の剥離長さを参考にしてください。	①パイプカッターによる切り込み ②マイナスドライバーによるノッチ <table border="1"> <caption>溶接時の剥離長さ (参考)</caption> <thead> <tr> <th>呼び径 (A)</th><th>剥離長さ (mm)</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>20 ~ 50</td><td>30 ~ 50</td></tr> <tr> <td>65 ~ 100</td><td>50 ~ 70</td></tr> <tr> <td>125 ~ 200</td><td>70 ~ 100</td></tr> </tbody> </table>	呼び径 (A)	剥離長さ (mm)	20 ~ 50	30 ~ 50	65 ~ 100	50 ~ 70	125 ~ 200	70 ~ 100
呼び径 (A)	剥離長さ (mm)								
20 ~ 50	30 ~ 50								
65 ~ 100	50 ~ 70								
125 ~ 200	70 ~ 100								
硬質ポリ塩化ビニル被覆鋼管剥離カッターによる除去 25A～150A までのサイズに対応 (VF・VI)									
① ストッパーを取り付ける。 ※剥離したい位置からストッパーの幅をずらした位置に固定する。	② カッターを管端に押し込む。 ※パイプ押さえを押し上げながら押し込む。								
③ 刃を押し当てながら回転させ、刃を塩ビに食い込ませる。 ※刃は鋼管まで達すればピンで固定される。	④ ハンドルを操作し、剥離していく。 ※ストッパーに当たった後にさらに1周回す事で切り離せる。								

- このカタログに記載された技術情報（品質試験結果）は、製品の代表的な特性や性能を説明するためのものであり、「規格」及び「用途」の規定事項として明記したもの以外は、保証を意味するものではありません。
- ご使用に当たっては、このカタログに記載されている用途、注意事項及び作業手順と留意点を必ず守ってください。不適切な使用等によって生じた損害につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。

お問い合わせ先

株式会社 協成 東京本社 営業開発部

〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町2丁目14番5号 KDX浜町中ノ橋ビル6階

TEL：03(5642)2302 FAX：03(5642)2308



株式会社 協 成

<https://www.kyosei.com/>

大阪本社 〒550-0023 大阪府大阪市西区千代崎3丁目1番3号 TEL. 06 (6583) 6100 FAX. 06 (6583) 6105
東京本社 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町2丁目14番5号 TEL. 03 (5642) 2302 FAX. 03 (5642) 2308
KDX浜町中ノ橋ビル6F

北海道営業所 TEL.011(811)8038 大阪支店 TEL.06(6684)9100
東北営業所 TEL.022(782)6560 岡山営業所 TEL.086(805)6511
北関東営業所 TEL.028(681)5025 広島営業所 TEL.082(270)1125
新潟営業所 TEL.025(272)2438 四国営業所 TEL.089(973)5052
神奈川営業所 TEL.0467(79)5461 福岡支店 TEL.092(651)9730
静岡出張所 TEL.054(361)7727 北九州営業所 TEL.093(582)1341
名古屋支店 TEL.052(659)6201 南九州営業所 TEL.099(260)5051
北陸営業所 TEL.076(253)0811

●このカタログの内容は、製品改良のため予告なく改訂することがありますので、ご了承ください。

株式会社 タチバナ

■本 社 大阪市西淀川区御幣島1丁目12番22号
〒555-0012 TEL.06-6477-7791(代表) FAX.06-6477-1201
■東京営業所 東京都港区浜松町1丁目27番16号(浜松町DSビル6階)
〒105-0013 TEL.03-3434-5454(代表) FAX.03-3434-5596
■名古屋営業所 名古屋市中区錦1丁目18番11号(CK21広小路伏見ビル5階)
〒460-0003 TEL.052-220-5005(代表) FAX.052-212-1281
■中国営業所 岡山市北区柳町2丁目6番25号(朝日生命岡山柳町ビル11階)
〒700-0904 TEL.086-232-2231(代表) FAX.086-232-4396
■福岡営業所 福岡市博多区博多駅前4丁目20番23号(セントラルビル2階)
〒812-0011 TEL.092-413-6003(代表) FAX.092-413-6056